

中東情勢への対応について

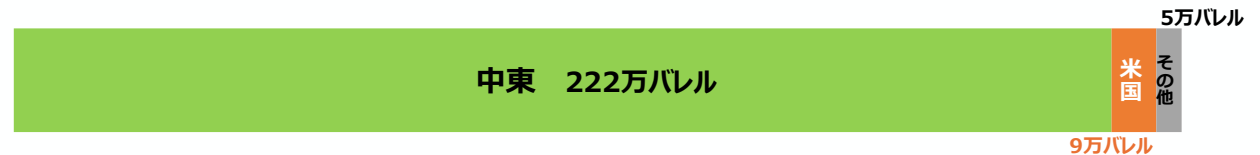
令和8年7月24日
農林水産省

原油調達の動向

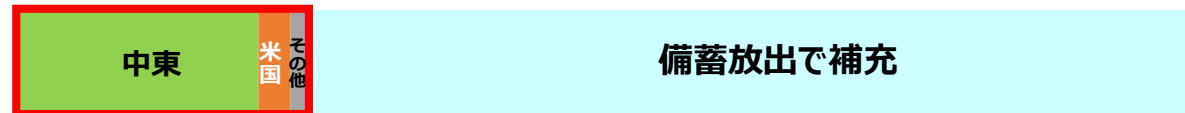
中東情勢に伴う重要物資の安定的な供給確保のためのタスクフォース（第3回）資料

- ホルムズ海峡を経由しない代替調達に官民連携の下、最大限取り組んでおり、中東や米国に加え、アジア太平洋、中南米、中央アジア、アフリカ等からも原油が届くなど、原油の調達先の多角化が進展。
7月は、現時点で、前年平月比で約10割の調達が実現できる見通し。
- 8月についても、現時点で、前年平月比約10割の調達に目途が立ったところ。米国からは、前年平月比で約10倍が調達できる見通し。

2025年実績（日量236万バレル）



4月調達分
調達率約25%（日量59万バレル）



5月調達分
調達率62%（日量146万バレル）



6月調達分
調達率82%（日量194万バレル）



7月調達分
調達率約10割（日量約240万バレル）



8月調達分
調達率約10割（日量約240万バレル）



注1：4～6月の実績値は製油所に到達した原油量の総量であり、各種統計との誤差が生じることがある。

注2：7月24日時点。原油タンカーの配船・運航状況等により、遅れが生じれば日本着が後ろ倒しになるため、月ごとの調達量には変動が生じ得る。

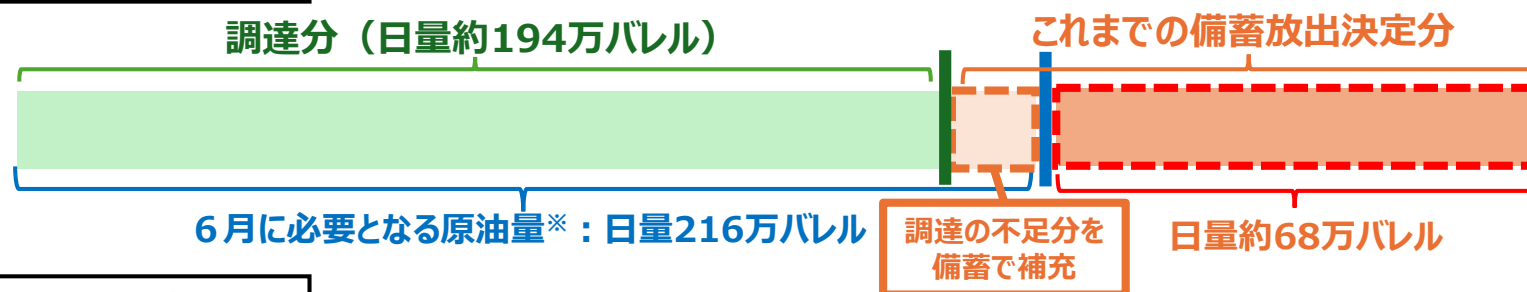
注3：上記表示以外の詳細な国名やルートについては、民間企業の契約に関する事柄であることに加え、安全対策上の理由から非公表としている。

当面の国家備蓄方針について

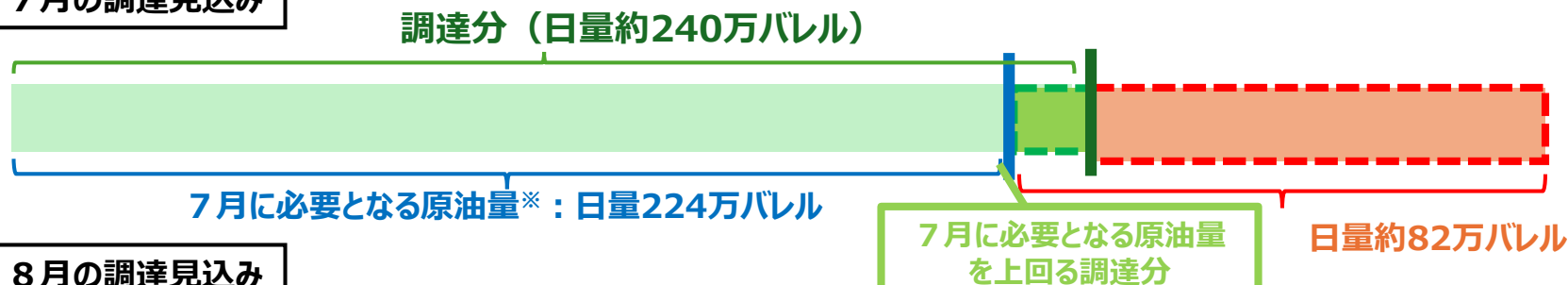
中東情勢に伴う重要物資の安定的な供給確保のためのタスクフォース
(第3回) 資料

- 代替調達の進展によって、8月に必要となる原油量を上回る調達ができる見通し。このため、5、6月に引き続き、7月についても第3弾の国家備蓄放出の決定を行わないこととする。
- 今後の備蓄放出については、代替調達の状況を見ながら必要に応じて判断していくが、いずれにせよ、今後も代替調達を進め、備蓄の放出を抑えながら、「日本全体として必要となる量」を確保していく。

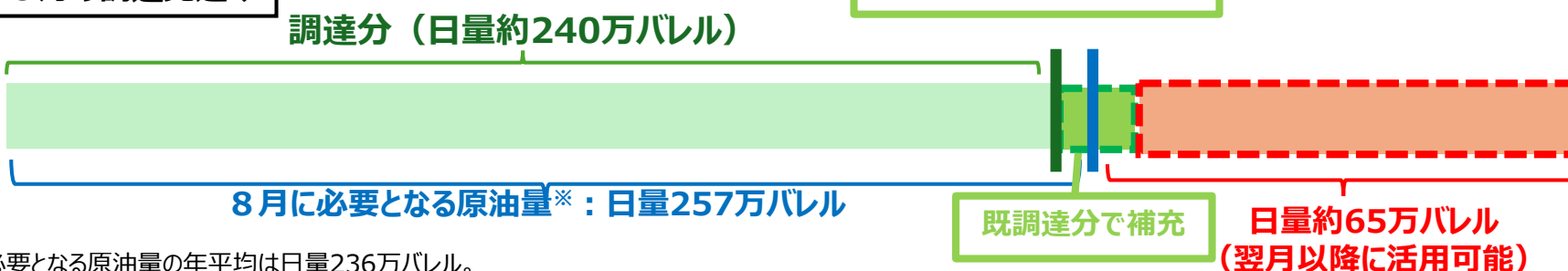
6月の調達



7月の調達見込み



8月の調達見込み



※必要となる原油量の年平均は日量236万バレル。

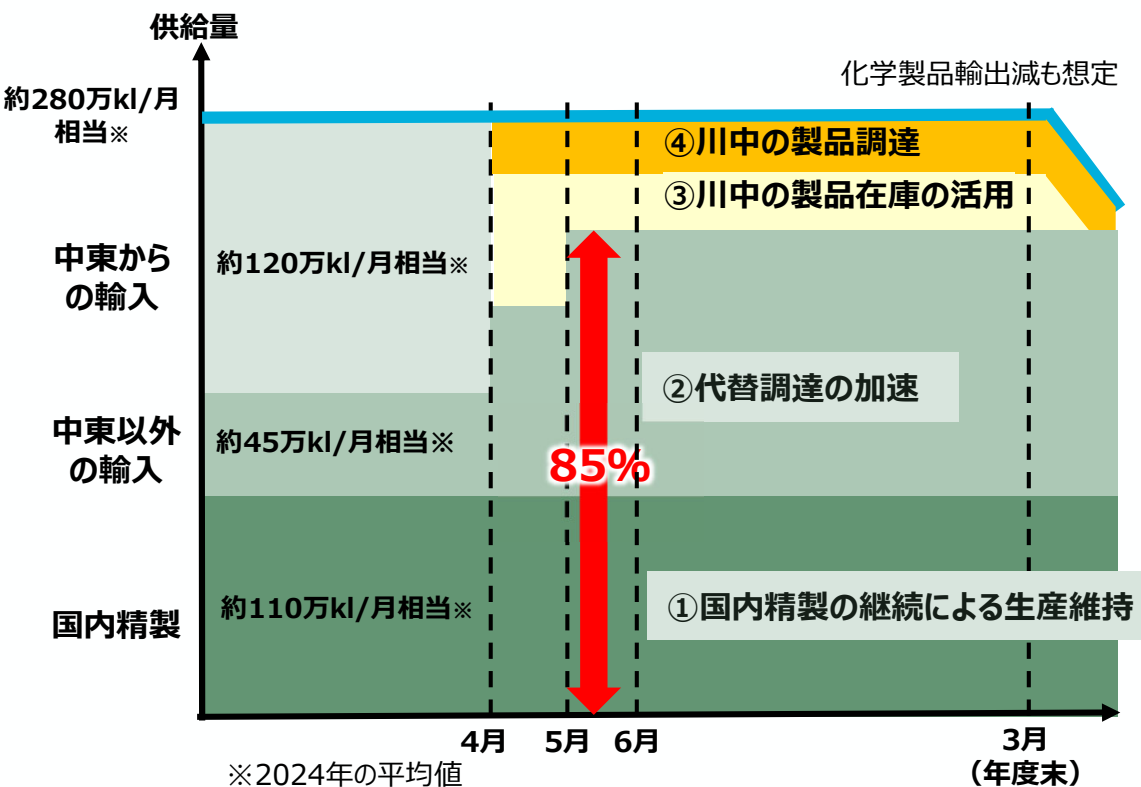
※調達量・需要量は、現時点での見通しであり、今後変更の可能性がある。

ナフサ由来の化学製品の供給見通し

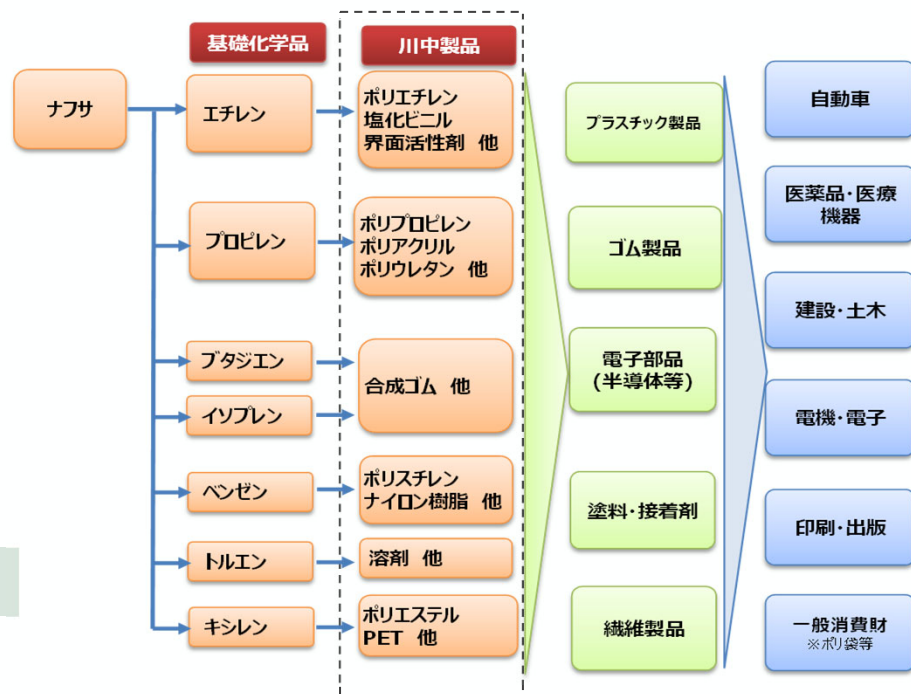
食品包装容器包装等情報交換会（第3回）資料

- 国内でのナフサの精製を継続していることに加え、代替調達で、従来の85%の水準まで回復。
- 川中の製品輸入が大幅に進み、4月の川中在庫の活用は、0.1ヶ月分（1.8→1.7カ月）に抑えられた。
- このため、ナフサ由来の化学製品を含む石油製品は、「年度を越えて」、供給継続が可能となる見込み。

化学製品の供給見通し（中東以外の輸入加速）



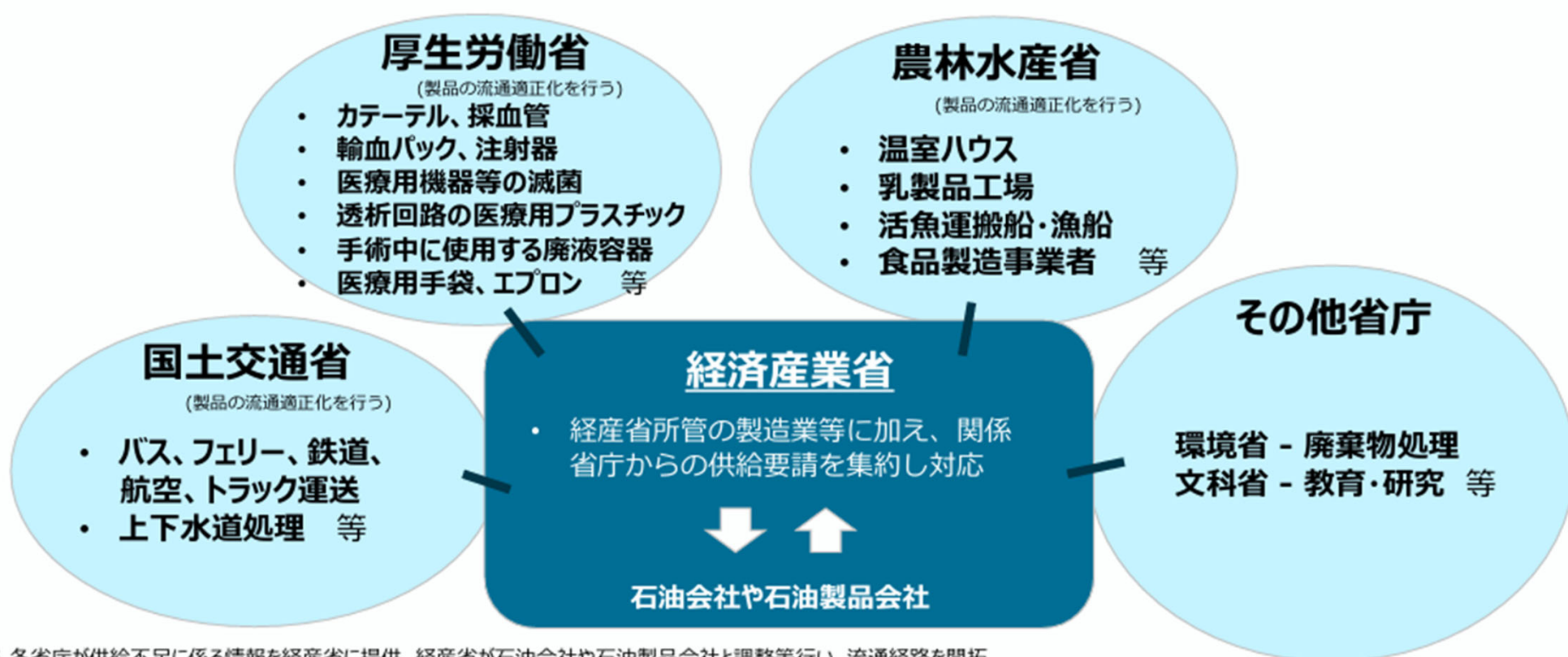
川中の製品在庫（1.7ヶ月分）



※各川中製品によって製品在庫の期間は異なるため、各川中製品の供給状況を注視の上、製品調達等も検討。

供給支援に向けた関係省庁との体制構築

- 国民の皆様の命と暮らしを守るという観点から、高市総理の指示を踏まえ、工業のみならず農業、医療等に関係するものも含むサプライチェーン全体について対応方針を取りまとめる。
- 人命に関わるものを最優先に、ひとつひとつ迅速かつ丁寧に解決につなげていく。



石油の流通円滑化対策の強化

- 日本全体の石油供給は足りているが、流通段階で目詰まりが発生しているため、対策を一層強化

①政府の重要物資タスクフォースの要請に基づき、重要施設向けには元売から直接販売。

②元売から卸事業者向け販売は、系列・非系列にかかわらず、前年同月比同量を基本とするよう、大手元売事業者に要請。加えて、大手卸売事業者にも、これに準じた要請を実施。

石油の流通円滑化対策

①直接販売ルート新設

- 政府のタスクフォースが認めた重要施設（医療・交通・公共サービス・農業・水産業・畜産業・重要物資の製造業等）向けは元売が直売

石油元売

卸事業者

需要家



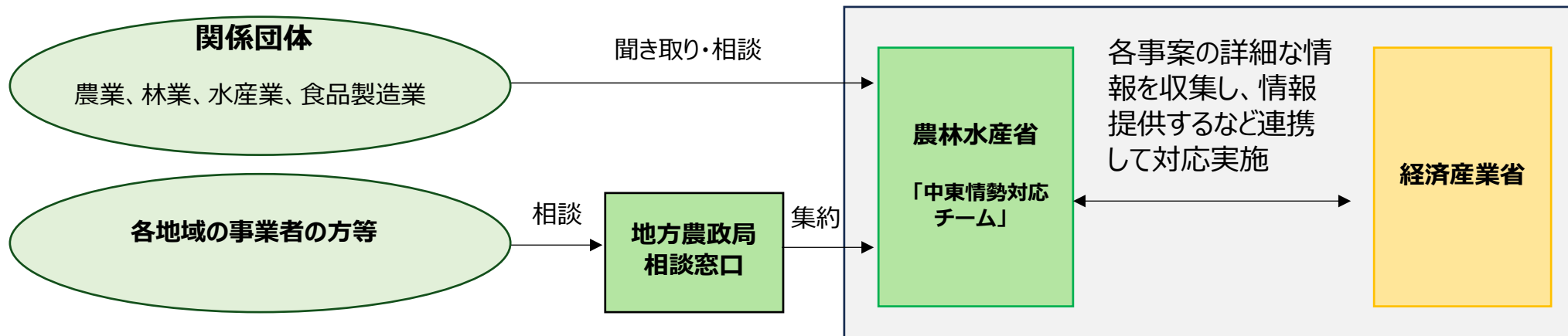
②流通段階の対策強化

- 前年同月比で同量の販売が基本

農林水産分野における体制の構築①

- 農林水産省においても、**相談窓口を設置**し、燃料油や石油製品等の安定確保への不安の声へ対応。
 - いただいたご相談については、経済産業省とも連携し、その原因や経緯を一つ一つ解きほぐしながら、円滑な供給が行われるよう適切に対応。
- 本省及び地方農政局に相談窓口を設置するとともに、関係団体、事業者から聞き取りや相談の受け付けを実施。
- 7月22日時点で4,324件(燃料油等：606件、石油製品等3,718件)のご相談・問い合わせをいただいているところ、経済産業省と連携して石油元売り事業者等に働きかけを行い、目詰まりの解消に向けて対応。

【情報収集と対応の流れ】



農林水産分野における体制の構築②

農林水産業・食品産業関係の生産・加工・流通業者の皆様へ

燃料油や石油製品等の供給に関する 相談窓口を設置しました

農林水産省では、燃料油や石油製品等の供給に関する相談窓口を設置しています。
中東情勢の影響により、燃料油や石油製品等の確保に不安がある場合は、
お早めにご相談ください。

生産・加工・流通現場における燃油確保等のご相談はこちら

大臣官房政策課食料安全保障室

メール: anposhitsu_chutokankei@maff.go.jp



農林水産省

相談窓口連絡先一覧

令和8年4月23日現在 (別添)

業種	担当部署名	メールアドレス ※【★】を【@】に置き換えてください。
農業	農産局技術普及課	nousan_seisansizaikyokuyuu_gifuka★maff.go.jp
	北海道農政事務所生産経営産産部生産支援課	nousan_seisansizaikyokuyuu_hokkaido★maff.go.jp
	東北農政局生産部環境・技術課	seigika_tohoku★maff.go.jp
	関東農政局生産部環境・技術課	kantoseigi★maff.go.jp
	北陸農政局生産部環境・技術課	seigikan_hokuriku★maff.go.jp
	東海農政局生産部環境・技術課	seisannenyu_tokai★maff.go.jp
	近畿農政局生産部環境・技術課	kinki_shizai★maff.go.jp
	中国四国農政局生産部環境・技術課	chushi_nenyu★maff.go.jp
	九州農政局生産部環境・技術課	kyusyu_agri-gasoline-information★maff.go.jp
	内閣府沖縄総合事務局生産振興課	okinawa.seisan.v6g★ogb.cao.go.jp
畜産業	畜産局企画課(畜産経営関係)	chikusan_soudan★maff.go.jp
	畜産局飼料課(飼料製造関係)	feed-support★maff.go.jp
	畜産局牛乳乳製品課(牛乳乳製品製造関係)	gyunyu_sokatsu★maff.go.jp
	畜産局食肉鶏卵課 食肉流通班(食肉処理施設関係、食肉加工メーカー関係、鶏卵・鶏肉関係、レンダリング施設関係)	shokuniku_sourumuML★maff.go.jp
	北海道農政事務所生産支援課	rakuchiku_hn★maff.go.jp
	東北農政局畜産課	chikusan_tohoku★maff.go.jp
	関東農政局畜産課	tikusan_kanto★maff.go.jp
	北陸農政局畜産課	tikusan_hokuriku★maff.go.jp
	東海農政局畜産課	tokai_chikusan_info★maff.go.jp
	近畿農政局畜産課	kinki_chikusan_info★maff.go.jp
	中国四国農政局畜産課	tikusan_ka.chushi★maff.go.jp
	九州農政局畜産課	kyusyu_chikusan★maff.go.jp
	内閣府沖縄総合事務局生産振興課畜産振興室	okinawa_chikusan.v4f★ogb.cao.go.jp

業種	担当部署名	メールアドレス ※【★】を【@】に置き換えてください。
林業・木材産業	林野庁林政課	rinya_rinsei★maff.go.jp
水産業	水産庁漁政部加工流通課、資源管理部管理調整課・国際課、増殖推進部栽培養殖課	gyogyo_sekiyu★maff.go.jp
食品産業	大臣官房新事業・食品産業部食品製造課	seizou_info★maff.go.jp
	北海道農政事務所生産経営産産部事業支援課	hk_seizou_info★maff.go.jp
	東北農政局経営・事業支援部食品企業課	nenyusoudan_tohoku★maff.go.jp
	関東農政局経営・事業支援部食品企業課	foodindustry_kanto★maff.go.jp
	北陸農政局経営・事業支援部食品企業課	nenyusoudan_hokuriku★maff.go.jp
	東海農政局経営・事業支援部食品企業課	shokuhinnenyu_tokai★maff.go.jp
	近畿農政局経営・事業支援部食品企業課	kinkishokuhin_info★maff.go.jp
	中国四国農政局経営・事業支援部食品企業課	shokuhin_chushi★maff.go.jp
	九州農政局経営・事業支援部食品企業課	seizou_info_kyushu★maff.go.jp
	内閣府沖縄総合事務局農林水産部食料産業課	butsuryu_sodan_oki.k6h★ogb.cao.go.jp
その他	大臣官房政策課食料安全保障室	anposhitsu_chutokankei★maff.go.jp
	北海道農政事務所企画調整室	hokkaido_kikaku★maff.go.jp
	東北農政局企画調整室	tohoku_kikaku★maff.go.jp
	関東農政局企画調整室	kanto_kikaku_web★maff.go.jp
	北陸農政局企画調整室	hokuriku.kikakutyousei★maff.go.jp
	東海農政局企画調整室	nenyu_tokai★maff.go.jp
	近畿農政局企画調整室	sekiyu_others_kinki★maff.go.jp
	中国四国農政局企画調整室	dm_chushi_kikaku★maff.go.jp
	九州農政局企画調整室	kyusyu-sonota-info★maff.go.jp
	内閣府沖縄総合事務局農政課	okinawanousei★maff.go.jp

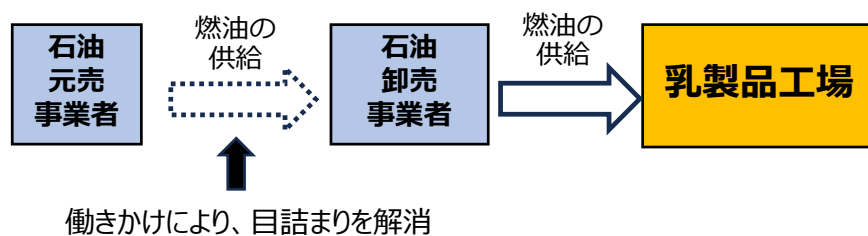
燃料油等の流通の目詰まりに関する対応

※ 令和8年7月23日時点

目詰まりの解消事例

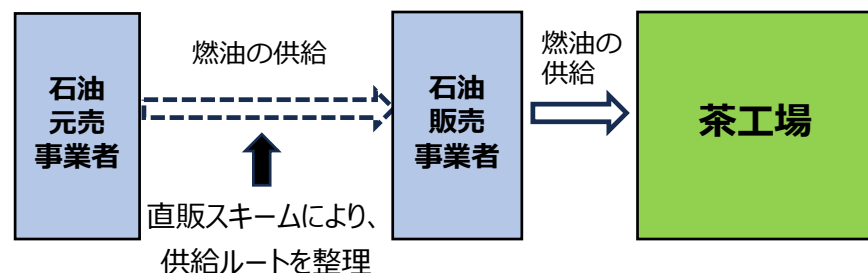
- ・ 乳製品工場（脱脂粉乳製造工場）でA重油を確保（岩手）
 - ・ 豆腐製造事業者でA重油を確保（兵庫）
 - ・ 養殖用の稚魚や畜産用の飼料工場での製造に必要なA重油を確保（愛知）
 - ・ 油脂や飼料・肥料原料の製造を行う工場での加工に必要なA重油を確保（岩手）
 - ・ 製麺工場でA重油を確保（奈良）
-
- ・ 茶製造に必要なA重油について、新規に石油元売会社からの直接販売を実施（静岡、三重、滋賀、鹿児島）※
 - ・ 漁船の運航に必要なA重油について、石油元売会社からの直接販売を実施（和歌山、愛媛）※
 - ・ 漁船に使用するエンジンオイルについて、石油元売会社からの直接販売を実施（山口）※
- ※ 直接販売スキームでの供給事例

【事例：乳製品工場への燃油供給】



- 地域の基幹的な乳製品工場において、使用するA重油の4月上旬以降の供給が確保できていなかった
- 経済産業省と連携した働きかけにより、主要な元売りから前年実績分までの燃油を供給

【事例：茶工場への燃油供給】



- 一年を通じて最も重要な一番茶のシーズンを迎えている中、4月に実施した茶工場への供給に続き、新たにお茶産地の茶工場などから「5月上旬に燃油が足りなくなる」との御相談
- 経済産業省と連携して石油元売会社との調整を加速し、燃油確保に不安のあった茶工場への燃油の供給が決定

石油製品等の流通の目詰まりに関する対応

目詰まりの解消に向けた取組

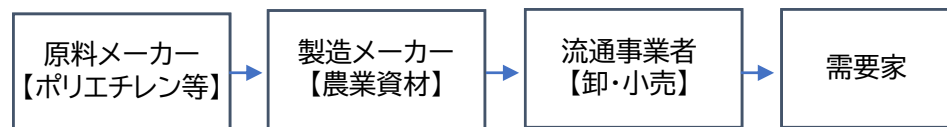
※ 令和8年7月23日時点

- 農林水産業・食品産業のサプライチェーンの上流から下流に渡り利用されている多種多様な資材について、流通構造等の実態把握を実施し、61調査項目について、全体として、供給に問題がないことを確認。
- 農業用マルチ等のプラスチック製農業資材や、石油由来の食品容器包装については、関係団体・事業者に対して、調達支障時の関係者との協議や、供給困難になる前の農林水産省への早めの相談、受発注の平準化などを要請。
(→詳細は次ページ)
- 実態把握を通じて得られた情報や相談窓口に寄せられた情報に基づき、経済産業省と連携して、供給の偏り・流通の目詰まりを解消。

目詰まりの解消事例等

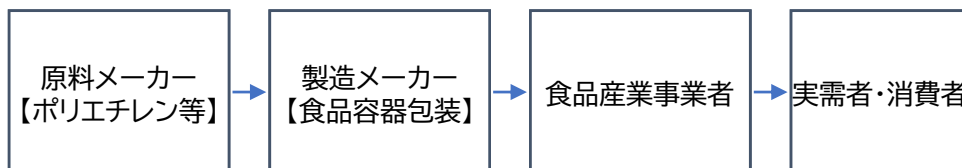
- ・豆腐製造事業者で豆腐を入れる容器を確保（宮城、新潟、愛知）
- ・調味料・酒類・乳製品製造業者で業務用液体容器を確保（北海道、京都、広島、熊本）
- ・農業関連団体で農産物出荷用の包装・梱包資材を確保（北海道、福島、栃木、群馬、神奈川、愛知、滋賀、兵庫、島根、岡山、福岡、長崎、宮崎）
- ・菓子製造業者で菓子用包材を確保（高知、大分、鹿児島）
- ・インク溶剤・梱包資材・加工食品メーカーに包材用インク溶剤の継続的な供給が可能と確認（愛知、大阪、宮崎）

【プラ製農業資材の流通フロー】



- 「コメ袋」については、経済産業省の協力の下、原料メーカーからポリエチレンの安定的な供給が継続される見通し
- 「農業用マルチ」も、当面概ね前年実績の供給が可能であることを確認

【調味料の業務用容器の流通フロー】



- 調味料製造メーカーの業務用容器である、「BIB(Bag in Box)」の一部に供給の懸念があるとの情報を受け、関係事業者と供給状況等について情報交換を実施し、「BIB」について、業務用容器メーカーから当面の供給が可能であることを確認

農林水産省から事業者等への要請の状況

令和8年7月23日時点

発出先・要請相手	品目	日付
木材産業関連団体（一般社団法人全国木材組合連合会、日本合板工業組合連合会等）	木製品に係る石油関連の原材料	4/15
農業用マルチ等プラスチック製農業資材製造事業者・流通事業者、生産者団体（全国農業協同組合連合会、一般社団法人全国農業協同組合中央会、公益社団法人日本農業法人協会）	農業用マルチ等プラスチック製農業資材	4/24
食品容器包装等製造事業者・流通事業者、食品産業関係団体（日本チェーンストア協会、一般社団法人日本パン工業会等）、水産関連団体（全国漁業協同組合連合会、一般社団法人大日本水産会等）	石油由来の食品容器包装等	4/30
農業機械関連団体（全国農業協同組合連合会、全国農業機械商業協同組合連合会、一般社団法人日本農業機械化協会）	潤滑油等	5/12
畜産業関連資材製造・流通事業者、畜産関連団体（公益社団法人中央畜産会、日本草地畜産種子協会等）	畜産業関連資材	5/20
林業・木材産業関連資材製造・流通事業者、林業・木材産業関連団体（全国森林組合連合会、一般社団法人全国木材組合連合会等）	林業・木材産業資材	5/20
畜産関連団体（公益社団法人中央畜産会、日本草地畜産種子協会等）、林業・木材産業関連団体（全国森林組合連合会、一般社団法人全国木材組合連合会等）	潤滑油等	5/20

1. パン・菓子等販売店、園芸農家の実態把握・目詰まり解消

- **パン・菓子等販売店**については、プッシュ型調査で把握した**100件を超える目詰まりについて全て対応を完了**。
- **園芸農家**については、地方農政局が中心となり、全ての全農県本部等の県域組織及び各地域の全ての総合農協からの聞き取りにより全国をカバー。並行して、各作物専門の農業者団体、農業法人、農家、自治体の役場等からも聞き取りを実施。
※聞き取り対象者：計649者
30者から目詰まりの情報を77件把握し、75件について対応を完了。引き続き、遡り調査等を行い、順次解消していく。

目詰まり解消事例

【プリンカップ】

菓子販売店から、「ネットで小口注文をしていたプリンカップが納入されず販売継続できない」との声。

⇒ 資材メーカーに、「**原材料を大口顧客の注文増分に割り当てていたが、ネット注文分も生産の再開が可能**」と確認。
菓子販売店に情報共有して目詰まりを解消。



プリン
カップ

【花用スリーブ】

農業者団体から、「調達先が受注停止や納期遅延を繰り返している状態」との声。

⇒ 資材メーカーに、「**現在は通常時に近い在庫水準となっており、今後は通常通りの製造を見込んでいる**」と確認。
農業者団体に情報共有して目詰まりを解消。



花用スリーブ

【ぶどう用フルーツキャップ】

農業者団体から、「8月いっぱいの出荷分の在庫はあるが、9月分が足りていない」との声。

⇒ 流通業者に、「**不足分の多くを納入予定であり、色にこだわらなければ全て納入可能**」と確認。農業者団体も色にこだわらず、目詰まりは解消。



フルーツ
キャップ

農林水産業・食品産業に関する「目詰まり対策」②

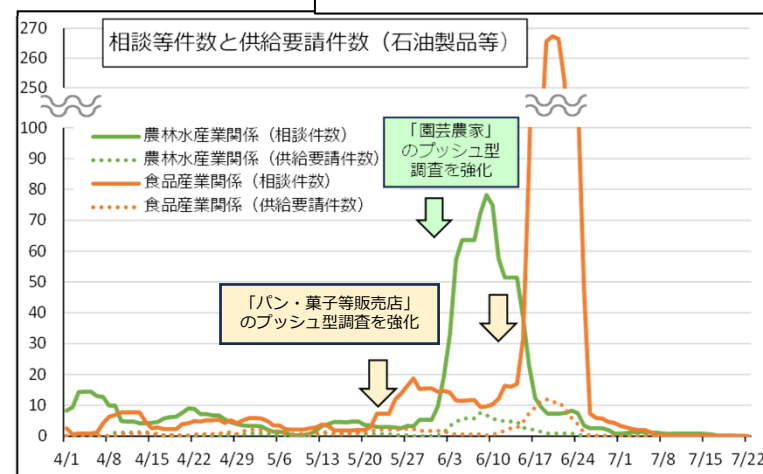
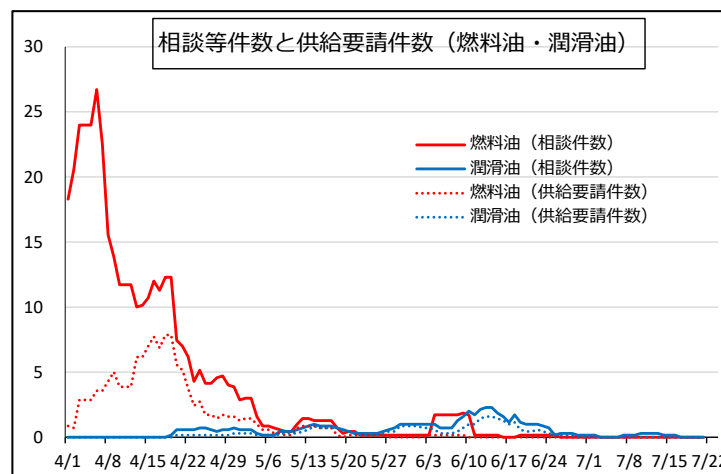
中東情勢に伴う重要物資の安定的な供給確保のためのタスクフォース（第3回）資料

2. 相談件数等の推移

- **燃料油**については、**相談等件数**は**5月以降ごく少数**。

潤滑油に関しては、農業機械、チェーンソー、漁船などに関連した**相談・供給要請あり**。

- **石油製品等**については、**プッシュ型調査**の結果、**相談等件数は増加**。
プッシュ型調査で把握した**供給要請件数は、相談等件数の6%弱**。

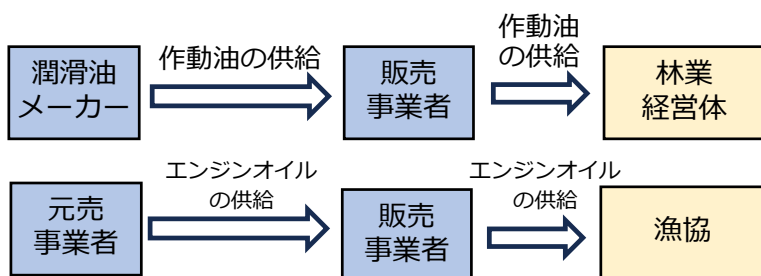


※ 相談件数は、7日間移動平均の推移（件/日）（4/1 - 7/22）。

供給要請件数は、相談件数のうち、具体的な物資について目詰まりの解消を求めるものの件数（将来の供給に関する懸念や情報提供等は含まない）。

3. 直接販売スキームによる目詰まりの解消

【潤滑油の直接販売スキームの活用事例】



林業経営体から、森林整備や木材生産に使用する**林業機械（重機）の作動油**が入手困難との相談。潤滑油メーカーからの**直接販売**による供給を決定。

アジ漁の旬を迎えた**漁協**から、**漁船のエンジンオイル**が不足しているとの相談。元売事業者からの**直接販売**による供給を決定。

【燃料の直接販売スキームの活用事例】



養殖用のカンパチの稚魚を輸入する**運搬事業者**から、**外国海域の航行に必要な硫黄分の低いA重油**が不足しているとの相談。元売事業者から**直接販売**により供給を行い、稚魚の輸入が実現。養殖を行う**漁協**に届けられた。

農林水産業・食品産業関連資材の流通実態の把握について【R8.6.26】

- ・ 農林水産業・食品産業で使用される資材について、流通構造等の実態把握を実施。
- ・ 以下の6 1 調査項目について、業界シェアで過半以上に相当する事業者からの聞き取り等により、全体として、供給に問題がないことを確認。
- ・ 資材供給に問題が生じる場合については、一つ一つ解決に取り組む。

業種	調査項目			
農業	【生産】 ・農業用マルチフィルム ・ハウス用ビニール ・茶用被覆資材 ・育苗トレ－ ・肥料袋 ・肥料 ・農薬	・サイレーシヨ用ラッパ ・飼料添加物 ・牛用個体識別耳標 ・人工授精関係資材（牛豚用） ・高分子凝集剤（家畜排せつ物処理用）	【流通】 ・コメ袋 ・パン袋 ・小麦粉袋（家庭用） ・野菜包装資材 ・カット野菜用包装資材 ・カットフルーツ用包装資材 ・茶用包装資材	・卵パック ・牛乳パック ・ヨーグルト用プラスチック容器 ・フレコンバッグ ・食肉包装フィルム ・包材（液卵・粉卵） ・エチレン（追熟等）
林業	【生産】 ・チェーンソーオイル ・きのこ菌床袋 ・きのこ種菌ボトル	・苗木コンテナ ・獣害防止用ネット ・くん蒸シート（森林病虫害対策用）	【流通】 ・接着剤 ・木材包装資材（結束バンド、包装用シート） ・きのこ包装資材	
水産業	【生産】 ・漁網 ・ロープ		【流通】 ・発泡スチロール箱 ・魚の保護用フィルム（パーチ）	
食品産業	【製造】 ・植物油製造関係資材（ヘキサソ、苛性ソーダ） ・植物油検査溶剤(キシレン) ・食品分析関係資材（ヘリウム）		【流通】 ・食品トレ－ ・業務用ラッパ ・豆腐容器 ・納豆容器 ・漬物容器 ・レトルト食品袋 ・カップ麺容器 ・乾麺包装 ・植物油容器 ・醤油容器 ・味噌容器 ・調味料容器 ・砂糖袋（家庭用） ・菓子袋	・コーヒ－容器 ・アルミ箔 ・冷凍食品袋 ・飲料ペットボトル ・弁当、惣菜の容器包装

供給の偏り・流通の目詰まりの解消案件①

令和8年7月23日時点

分野

解消事例

食品・農業

- ・ 乳製品工場（脱脂粉乳製造工場）でA重油を確保（岩手）
- ・ 豆腐製造事業者でA重油を確保（兵庫）
- ・ 豆腐製造事業者で豆腐を入れる容器を確保（新潟、宮城、愛知）
- ・ 養殖用の稚魚や畜産用の飼料工場での製造に必要なA重油を確保（愛知）
- ・ 油脂や飼料・肥料原料の製造を行う工場での加工に必要なA重油を確保（岩手）
- ・ コメ袋製造メーカーで袋原料（ポリエチレンペレット）を確保（全国規模）
- ・ 農業用マルチの供給状況を調査し、前年実績の供給が可能と確認（全国規模）
- ・ プラスチック製の食品包装容器等の原料（ポリエチレン）の供給状況を調査し、前年実績の供給が可能と確認（全国規模）
- ・ 製麺工場でA重油を確保（奈良）
- ・ 調味料・酒類・乳製品製造業者で業務用液体容器を確保（広島、北海道、熊本、京都）
- ・ インク溶剤・梱包資材・加工食品メーカーに包材用インク溶剤の継続的な供給が可能と確認（愛知、大阪、宮崎）
- ・ 菓子製造業者で菓子用包材を確保（鹿児島、大分、高知）
- ・ 個別農業者の当面の農作業に必要な農業用マルチを確保（兵庫）
- ・ 農業関連団体で農作業に必要な軽油・灯油を確保（福井）

※下線は、6月25日時点からの更新箇所

供給の偏り・流通の目詰まりの解消案件②

令和8年7月23日時点

分野

解消事例

食品・農業 (続)

- ・菓子製造業者でデザート用カップを確保（愛知）
- ・菓子製造業者で菓子製造に必要な手袋を確保（京都）
- ・食品用手袋メーカーで手袋の製造に必要なポリエチレンを確保（東京）
- ・総合化学メーカーで食品輸送に必要な梱包用クラフトテープを確保（東京）
- ・食品製造業者で梱包・輸送用資材の継続的な供給が可能と確認
（北海道、群馬、千葉、東京、静岡、三重、大阪、愛媛）
- ・製パン業者・パン販売店に包装資材等の継続的な供給が可能と確認
（北海道、山形、茨城、群馬、千葉、東京、神奈川、福井、山梨、岐阜、静岡、兵庫、奈良、佐賀、沖縄）
- ・洋菓子店に包装資材等の継続的な供給が可能と確認
（栃木、東京、愛知、三重、兵庫、奈良、香川、福岡、宮崎）
- ・和菓子店に包装資材等の継続的な供給が可能と確認
（岩手、埼玉、東京、富山、愛知、滋賀、京都、大阪、福岡、長崎、熊本）
- ・農業関連団体で農産物出荷用の包装・梱包資材を確保（北海道、福島、栃木、群馬、神奈川、愛知、滋賀、兵庫、島根、岡山、福岡、長崎、宮崎）
- ・農業関連団体で農業生産に用いる資材等を確保（福島、群馬、愛知、岡山、高知）

※下線は、6月25日時点からの更新箇所

供給の偏り・流通の目詰まりの解消案件③

令和8年7月23日時点

分野

解消事例

食品・農業 (続)

- ・ 介護食製造事業者で包装資材等を確保（岐阜、大阪）
- ・ 食肉加工事業者で包装資材を確保（岩手）
- ・ 調味料製造業者で食品容器等の継続的な供給が可能と確認（北海道、山形、埼玉、静岡、愛知、鳥取）
- ・ 製麺業者で包装資材を確保（秋田、長崎）
- ・ 容器包装製造業者で食品容器包装の製造に必要な原材料等を確保（千葉、東京、富山）
- ・ 水産加工事業者で包装資材を確保（高知）
- ・ 飲食店で必要な包装資材、ビニール袋等を確保（熊本）
- ・ 食肉用包装フィルムメーカーで印刷用溶剤を確保（青森）
- ・ 畜舎の施工会社が畜舎用に必要な資材の継続的な供給が可能と確認（東京）
- ・ 米飯製造業者でニトリル手袋を確保（山形）
- ・ 木質ペレット加工販売業者で出荷用袋を確保（岐阜）
- ・ 農薬製造業者で農薬の容器製造に必要な樹脂の継続的な供給が可能と確認（東京）

※下線は、6月25日時点からの更新箇所

制度

燃料・潤滑油の 直接販売スキーム

供給の偏り・流通の目詰まりの解消案件④

令和8年7月23日時点

解消事例

- ・ 茶製造に必要なA重油について、新規に石油元売会社からの直接販売を実施（鹿児島、静岡、三重、滋賀）
- ・ 漁船の運航に必要なA重油について、石油元売会社からの直接販売を実施（和歌山、愛媛）
- ・ 林業経営体の作業に必要な作動油について、潤滑油メーカーからの直接販売を実施（富山）
- ・ 集成材メーカーの作業に必要な潤滑油について、石油元売会社からの直接販売を実施（愛媛）
- ・ 乳用牛飼養に必要な車両等に使用するエンジンオイルについて、石油元売会社からの直接販売を実施（三重）
- ・ 漁船に使用するエンジンオイルについて、石油元売会社からの直接販売を実施（山口）

※下線は、6月25日時点からの更新箇所